



特集

GO! KAISERS! 総合関関戦を応援しよう!!

表紙モデル
大募集!!
詳しくは裏表紙へ

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】

SNSをどのように使用していますか?

【VIVA!学び場】商学部

「演習」荒木孝治 教授

【働く関大人】教育業界／講師
大阪府立茨木支援学校
河野有紀さん

【なるほど・ザ・関大!】
関大生 学生生活の変遷

【今月のシンクさんアクトくん 関大生の友の輪】
政策創造学部2年次生 原雄貴さん

Q. 関関戦の意気込み
 とても良い雰囲気練習ができていて、男女混合で戦える唯一の試合なので、一致団結して勝ちます。

Q. 普段の練習法
 特徴ある練習はありませんが、全部員が基礎を大切にしているので、基礎練習に徹底して取り組んでいます。

1年次生から活躍し、今年はナショナルチームにも選出!

注目選手
 自分自身の役割をしっかりと果たして、空手道の勝利に貢献したいと思っています。
 石黒 桃子さん(人3)

空手道部女子 主将 濱田 未玖さん(人4)

Q. 関関戦の意気込み
 昨年は負けているので、今年は練習で準備したものをしっかりと生かせるような試合をして、勝ちたいと思います。

Q. 特徴ある練習メニュー
 逆立ちをしながら階段を上り下りする練習を行っています。キツイですが、上半身の筋力アップにつながっています。

注目選手
 プレースピードと激しいタックルが持ち味!
 しっかりと気持ちをつくって、激しいタックルとスピードのあるランニングを決められるように頑張ります。
 廣瀬 裕貴さん(安全3)

ラグビー部 主将 豊田 伸悟さん(経4)

Q. 関関戦の意気込み
 現在、総合関関戦は16連勝中なので、今年も連勝記録を伸ばせるように、絶対に勝ちます。

Q. 特徴ある練習メニュー
 弾を撃つ練習だけでなく、「スキャット」という分析装置を銃に付けて、銃口の軌道をチェックする練習も行っています。

注目選手
 全日本大会で8位入賞。レギュラーを狙う若手のエース!
 総合関関戦は男女混合の特別ルールで行うので、男女力を合わせて勝ちたいです。
 粒崎 玲さん(政策2)

射撃部 主将 田中 美穂さん(法4)

第37回 GO! KAISERS!

総合関関戦を応援しよう!!

Q. 関関戦の意気込み
 関学は長年のライバル。昨年の関関戦、春のリーグ戦と負けているので、今年こそは勝って総合優勝に貢献したいです。

Q. 特徴ある練習メニュー
 近年、部員数が急増し、上下・横のつながりをより強くするために、ミーティングの回数を増やして部員同士の関係を深めています。

長身から放たれるパワフルなシュートとガッツあるディフェンスが魅力!

注目選手
 春季リーグの初戦で関学に負けているので、その悔しい思いを関関戦にぶつきたいと思っています。
 橋本 明雄さん(政策4)

ハンドボール部 主将 岡本 宏基さん(人4)

Q. 関関戦の意気込み
 格上の相手ですが、持ち前の団結力とホームの応援を味方にして、勝利を目指します。

Q. 普段の部員たちの様子
 部室では、卓球専門の月刊誌『卓球王国』で紹介されている選手やスキルについての話をしています。

注目選手
 常に練習熱心、頼れる関大のエース!
 関学は強いですが、自分たちから向かっていく気持ちで試合に臨みます。
 安川 奏子さん(文3)

卓球部女子 主将 森田 美咲さん(文4)

Q. 関関戦の意気込み
 関大の体育会の一員として「一勝」に貢献し、強い気持ちで戦いたいです。

Q. 普段の部員たちの様子
 全員、野球大好き人間なので、毎日部室で、プロ野球の良いプレーやすごい選手の話ばかりしています。

注目選手
 二枚看板の右投手、力強いストレートで三振の山を築く!
 ピッチャーの大黒柱として精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いします!
 畑瀬 聡史さん(政策4)

野球部 主将 江原 祥太さん(人4)

我が関西大学体育会と、良きライバルである関西学院大学体育会が競い合う「総合関関戦」も今年で37回を迎えます。本戦は6月13日(金)から15日(日)までの3日間。今年こそは関大に総合優勝を、と意気込むアスリートたちの熱い戦いを応援しにぜひ会場まで足を運んでください。

6/13 FRI »» 15 SUN

総合関関戦とは?
 学生のスポーツ振興と両校の親睦を深めることを目的に、1978年からスタートしたのが総合関関戦。全国的に見てもこの大会のように同じ会場・同じ期間にあらゆる競技を一堂に行うという大学の対抗戦は珍しいようです。大会では、サッカー、野球、器械体操、馬術、陸上競技、弓道など、さまざまな競技で対戦が行われ、勝利数の多かった大学がその年の総合優勝校となります。第1回大会は15勝8敗3分と関西大学が勝利。36回大会までの通算成績は関西大学の16勝19敗です。毎年交互にどちらかの大学が大会会場となり、今年も関西大学の主催となっています。

第37回総合関関戦

前哨戦: 3勝6敗 (5月26日現在)		
日程	種目	場所
5月31日(土)	柔道	養心館2階柔道場
6月6日(金)	ゴルフ	有馬ロイヤルゴルフクラブ
6月7日(土)、8日(日)	弓道	関西大学弓道場

6月13日(金) / 会場: 関西大学千里山キャンパス他

時間	種目	場所
12:10~13:00	開会式	中央グラウンド(雨天時:中央体育館)
13:30~16:30	卓球	中央体育館サブアリーナB
13:30~16:00	バレーボール男子	中央体育館メインアリーナ
15:40~18:50	ホッケー	中央グラウンド
17:00~19:00	アイスホッケー	高槻キャンパスアイスアリーナ
17:00~20:30	バスケットボール	中央体育館メインアリーナ

*ホッケー: 女子(15:40~)、男子(17:30~)
 *バスケットボール: 女子(17:00~)、男子(19:00~)

6月14日(土) / 会場: 関西大学千里山キャンパス他

時間	種目	場所
午前中	健康マラソン(イベント)	千里山キャンパス内(中央グラウンドスタート)
9:00~16:00	アーチェリー	養心館屋上アーチェリー場
9:00~18:00	テニス	第4学舎3号館空中テニスコート
10:00~15:00	重量挙げ	凱風館重量挙げ道場
10:00~12:00	漕艇	神崎川
10:00~15:00	ソフトテニス	ソフトテニスコート
10:00~14:00	フェンシング	東体育館第3体育室
10:00~15:30	ヨット	新西宮ヨットハーバー
11:50~15:45	器械体操	天六キャンパス体育館
12:00~16:00	少林寺拳法(演武)	東体育館第2体育室
12:00~13:00	レスリング	東体育館第2体育室(レスリング場)
13:00~14:30	拳法	凱風館3階道場
13:00~14:00	相撲	新凱風館相撲道場
13:30~16:00	野球	高槻キャンパス第3グラウンド
14:00~15:00	古武道(演武)	中央体育館サブアリーナB
15:00~17:00	サッカー	中央グラウンド

*器械体操: 女子(11:40~)、男子(14:00~)

6月15日(日) / 会場: 関西大学千里山キャンパス他

時間	種目	場所
9:40~12:40	ラクロス	中央グラウンド
9:30~15:00	射撃	養心館射撃場
10:00~15:00	ヨット	新西宮ヨットハーバー
14:00~15:30	ラグビー	中央グラウンド
12:00~13:00	合気道(演武)	東体育館第2体育室
12:00~16:00	パドミントン	東体育館第1体育室
12:00~15:00	ハンドボール	中央体育館メインアリーナ
12:30~13:30	空手道	凱風館3階道場
13:00~16:00	準硬式野球	北グラウンド
15:00~17:00	剣道	中央体育館サブアリーナB
17:30~18:30	閉会式	中央グラウンド(雨天時:中央体育館)

*ラクロス: 女子(9:40~)、男子(11:25~)
 *ハンドボール: 女子(12:00~)、男子(14:00~)

各試合日時に変更の可能性があります。詳細は右の二次元バーコードで随時確認してください。



運営委員長より一言
感謝の気持ちを伝えられる大会に体育会本部長 梶 元士さん(経4)
 昨年総合優勝を逃し、総合成績で5連敗を喫してしまいました。今年は何となくでも負けません。関大体育会約2,300人が力を合わせ、全員で勝利を目指します。また、今年のテーマ「結心」とあるように、学生をはじめ学校関係者、校友の方、地域の方など、スポーツを通してさまざまな人の心をつなげ、日々の感謝の気持ちを伝えられるような大会にしたいと思っています。

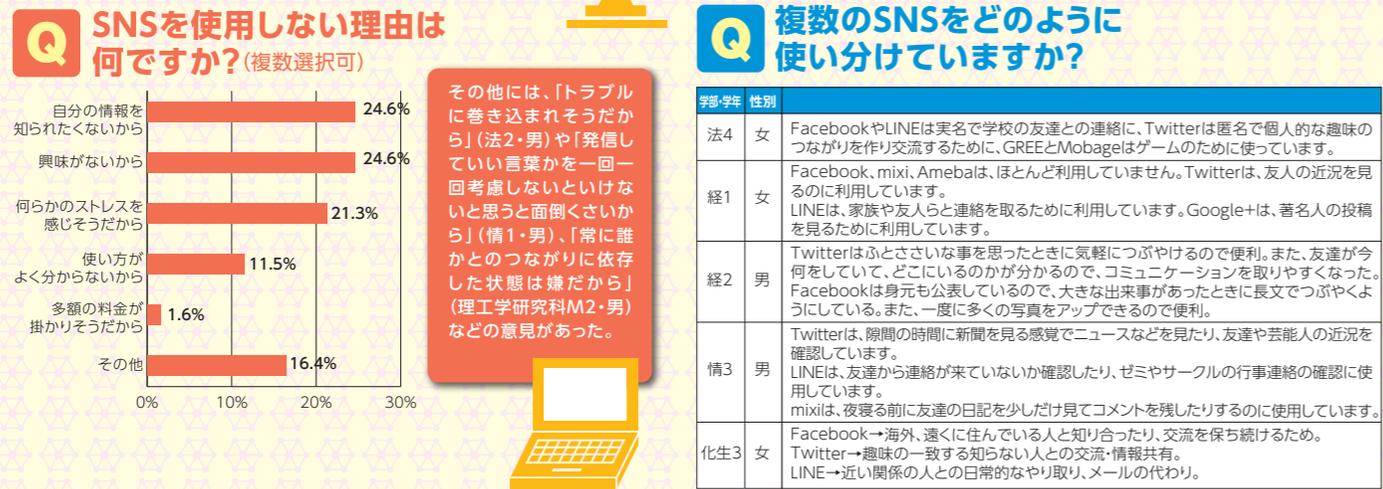
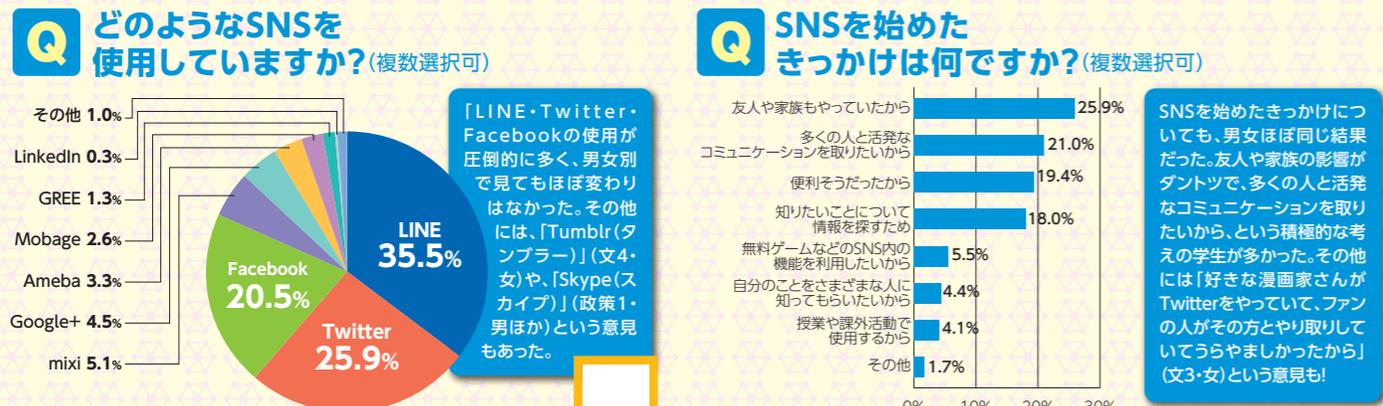
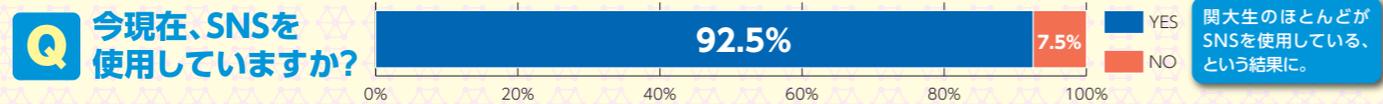


みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

～SNSをどのように使用していますか?～

今では多くの人が使用しているソーシャルネットワーキングサービス(SNS)。人と人とのつながりを促し、コミュニケーションツールとしても便利である一方、同時にその危険性が社会問題にもなっています。リスクを併せ持っていることを忘れず、さまざまな意見を参考に賢い活用方法を学びましょう。

【アンケート期間:3月10日～4月11日 対象:関大生 回答者数:402人(男子193人 女子209人)】



OPINION OF PROFESSOR

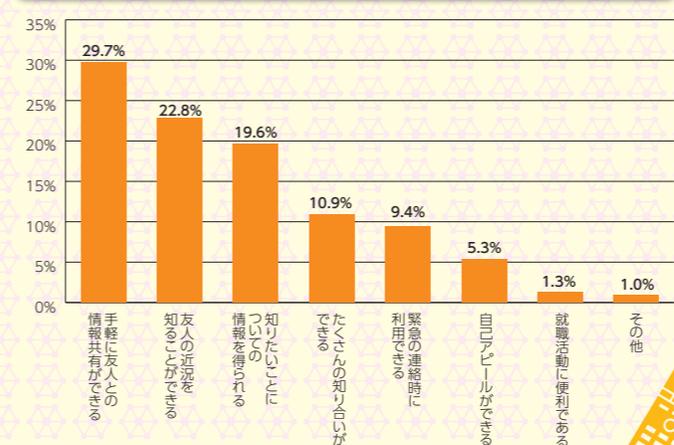
文学部 柴田 一 教授

SNSの利用目的については、調査対象がこれから将来に向けて交友範囲を広げたいという青年層らしく、人とのつながりが一番になっています。利用率からも、もはやSNSは学生生活になくてはならないものであるといえます。相手の顔が見えないのでネットでの私たちの行動は見られていないと勘違いしが

ちですが、見えていないのは私たちだけで、私たちは常に見られています。この辺りのことを、SNSを使用しない人は敏感に感じ取っているのでしょう。良くも悪くも距離と時間を縮めるのがICTです。SNSのおかげでできた大切な人間関係もあるでしょう。一方で、私たちを守ってきた物理的な距離と時間の壁を壊してしまうのもICTであることに注意しなければなりません。「中毒・依存症」や「SNS疲れ」の兆候も少なからず見られます。SNSを上手に利用し、決して利用されないようにするために、自分で1日の利用時間に制限を設けてみてはどうでしょう?ドブプリと漬かることなくSNSとは適度な距離を保ちましょう。これはSNSで築こうとしている人間関係も同じかもしれません。

Q SNSを使用していて、良かったと感じる点は何ですか?(複数選択可)

やはり大学生活には「友人」は必須。良かった点に「友人」が関わる項目を挙げた人が多い。



Q SNSを使用していて良かった!と感じたエピソードを教えてください。

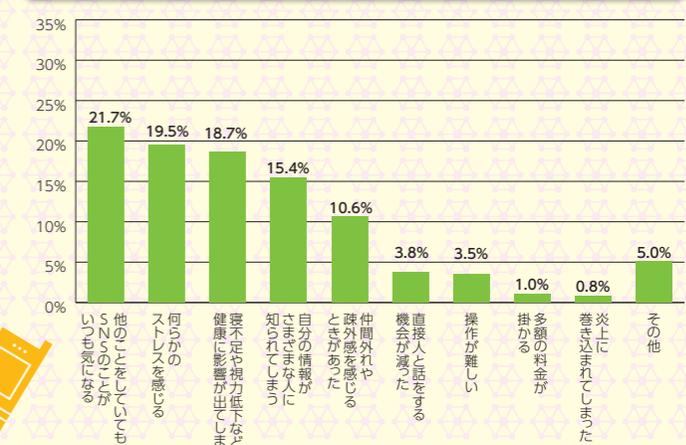
学部・学年	性別	エピソード
経4	男	普通では知り合うこともなかったであろう業界の人と知り合えたり、評論家に直接意見を言ったりできたこと。
文4	男	留学中や海外旅行で知り合った友達と連絡を取りたいときに、世界中で使われているFacebookがすごく有効的。情報交換や語学の勉強にもなる。LINEは複数の友達と同時にチャットができるため、サークルや部活動または仕事での連絡の手段としてもすごく有効。
商4	女	地震などの災害のときや海外での事件などの情報を素早く手軽に知ることが出来る。ニュースや新聞よりも詳細までリアルタイムの情報が入ってきます。
社2	女	分からないことや意見を聞きたいときに不特定多数の人に向かって質問を発信でき、いろいろな人から多種多様な視点の返答をもらえる。
社経研科M1	男	留学生として日本に住んでいるため、家族とSNSを通じて簡単に連絡が取れる。

Q 今後、SNSにどのような機能が増えたらいいと思いますか?

学部・学年	性別	希望する機能
法2	女	あまり機能を増やし過ぎても使いこなせないで、もうこれ以上機能は増えてほしくないです。
商2	女	Twitter上で同じ大学の人ももっと簡単につながれるように、コミュニティーを作ってほしい。
社2	女	TwitterやFacebookは若い人がするイメージが過ぎていると思うから、年配の方でも楽しく友達らと交流できるように、機能を単純化したものを出してほしいと思う。
政策2	男	企業と連携して、その会社がどのような活動をしているのか、採用基準は何なのか、男女比や社員の生の声など、ホームページでは分からない本音の部分も見せてほしいと思います。
シス理4	男	LINEで「既読通知」という機能が、これは問題を起こしやすい機能であると考えるので、廃止してほしいと思う。

Q SNSを使用していて、悪かったと感じる点は何ですか?(複数選択可)

「いつもSNSが気になる」、「ストレスを感じる」、「健康に影響が出る」、「自分の情報が知られてしまう」がほぼ横ばいだった。その他の意見には「面倒」や「時間が無駄になる」、「他人が書き込むことに過剰に反応し、不快になる」などがあった。



Q SNSにまつわる恐怖体験エピソードを教えてください。

学部・学年	性別	エピソード
文4	男	Facebookの広告が怖い。なぜこんなにも自分のことを知っているのか…。例えば「TOEIC」と検索したら、次にFacebookを開いたときはTOEICの広告が自分のホームに出ていた。
経3	女	LINEでよく、後で返信しようと思って既読無視をしてしまうのですが、知り合いからの「既読無視しないでね(笑)」というメッセージが怖かったです。
政策3	男	Twitterで有名人に意見をぶつけたところ、他のユーザーが猛批判を食らったこと。
政策4	女	眠ろうとしても友人からすぐに返事が届いてしまうため、全く寝ることができず、朝の4時まで起きていたことがあります。
理工学研究科M2	男	知らない人から友達申請があり、私が忘れていたかと思い共通の友人を探そうとしたところ、その方の友人一覧は全て私と名前が同じ方のみでした。私と同じ名前の方を探しているのかと思いますが、ゾッとしました。

Q SNSのさらなる普及で、私たちの生活はどう変化していくと思いますか?

学部・学年	性別	予想される変化
法2	女	SNSが使える人、使えない人で情報格差が多少なりとも出ると思う。するとスマホなどに付きっきりになり、生活リズムが乱れると思う。
法3	女	特に何も変わらないと思います。電話やメールが普及し始めたときも、そのせいで人との会話が減ったということもなく、必要があったら直接会って話さなければならぬことに変わりはなかったのだ。
法4	女	個人情報ほとんどWebやSNSに流れ、さらに私生活との関わりを増していくと思う。便利になる反面、トラブルやSNSからの犯罪なども増えていくのではないかと。
情1	男	SNSに参加している人間のネットワークを通じて、さらに知り合い、友人の輪、情報網が広がっていくので、豊かな日々を送ることが出来る。
理工学研究科M1	男	コミュニケーションがSNSという媒体を通して行われることが当たり前となり、Face to Faceのコミュニケーションの機会が失われることで、より内向的な生活に移行していくのではないかと。

6月号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「SNSをどのように使用していますか?」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(6月2日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

次号のテーマは…「障がい者支援って何ですか?」

障がい者に対する「バリアフリー」や「共生社会」が叫ばれている昨今、本学でも昨年、学生相談・支援センターが設置され、障がいのある学生の修学に関する相談・支援を行っています。次号(7月号)は、関大生が「障がい者支援」についてどのような考え方を持っているのかを調査します。



教育業界 / 講師

大阪府立茨木支援学校 河野有紀さん

清泉女学院高等学校出身
2013年文学研究科修了

子どもたちとの意思疎通の方法は
言葉だけじゃない。
思いが「つながった」と感じる瞬間が
何よりの喜びです。

一度、一般企業に就職した河野有紀さんが大学院に戻り、次に選んだのは支援学校の教育現場でした。

昨年度まで別の学校で主に知的障がいを持つ子どもたちを受け持っていた河野さんが肢体不自由の生徒を担当するのはこの学校が初めて。現在は高校2年生の女子クラスの担当で、6人の生徒を6人の先生が支援するというマンツーマン体制で頑張っています。授業だけでなく食事やトイレなど生活面のサポートもあり、気力や観察力に加えて体力の必要性も痛感しているそうです。特別支援の教諭を志すようになったのは、大学で『国語学』を学んでいたころ。「漠然と将来は一般校の国語の先生になるのかなあ、と思っていたときに、支援学校と障がいを持つ方たちの作業所に短期間、お手伝いに行く機会がありました。明るい生徒さんたちに驚かされ、そして何より子どもや作業場の方たちとの触れ合いが楽しくて」。この経験で河野さんは、自分の本当にやりたいことを見つけます。だからこそ支援学校での仕事を希望する人には、「ぜひボランティアで、この仕事が自分に適合しているかどうか体験してほしい」と考えるのです。

子どもたちが自立できるよう助け過ぎない支援を心掛け、社会に出るため『時間を守る』習慣などを教える。いつも元気で、そして何かを得てほしい。特別支援学校教員免許取得を当面の目標とする河野さんの夢は、生徒たちの未来へとつながっています。

ある1日の
スケジュール

8:00	過ぎ	出勤
8:30	授業準備、確認作業	
9:00	職員朝礼	
9:30	登校(お迎え)	
12:00	授業開始	
13:20	給食	
15:00	授業	
16:00	下校(送り出し)	
16:00	職員会議	
19:00	業務終了	



一見してすぐに言葉と意味が分かるよう工夫された教材と、気になることを記しておく必需品のノート。

TEACHER

VIVA!!

学び易



商学部

「演習」

荒木 孝治 教授

プロジェクト実践型学習による「社会人基礎力」の育成がテーマ

「専門演習・卒業研究」のためのトレーニングと、将来、科学技術に基づく成果を企業が事業化する際、その橋渡しができる人材の育成を目指します。

この2年次演習では、2007年度から商学部で取り組んでいるCORES(=Core Skill Program: コレス)を実施。これはビジネスプランの作成を通じ、社会人基礎力の育成を目指すプロジェクト実践型の教育プログラムです。

昨年度は化学生命工学部の河原秀久教授が研究・開発した「不凍タンパク質」をテーマに選び、商学部の3つのゼミの学生が顧客ニーズの視点から新規事業の創出に取り組みました。各ゼミ生が4~6人のチームに分かれ、PBL(Project-Based Learning)というプロジェクト形式での学習を行います。既存概念に捉われないこと、自由な発想で新規事業のアイデアを出していきます。授業では、毎回各チームが発表し、それに対する質疑応答およびコメントのみ。そこから次週までに、学生が自主的に集まって検討し、また発表をするというプロセスの中でビジネスプランとしてまとめ上げていきます。

荒木教授は「この授業で学生にはチームワークを身に付け、コミュニケーション能力をアップさせると同時に、今や日本の多くの企業が失ってしまった『イノベーションを起こす』という気概を育むとともに、そこで利用できる技術を学んでほしい。そうして社会に出て、何か新しいことに挑戦してほしいですね」と期待します。また、この演習で経験したことは、3年次からの「専門演習」「卒業研究」へとつながるステップでもあります。これらのトレーニングは商学部の学生が、外部の発表会やコンペティションで好成績を収める原動力になっているようです。

昨年度、最終的に10チームが完成させた不凍タンパク質のビジネスプランは、グランフロント大阪にて開催されたワークショップで、多くの企業人の前で発表されました。また、関西大学商学部主催の全国規模のビジネスプラン・コンペティションKUBICIにも応募されます。演習活動とは別に、個人でもプランを考え、応募するゼミ生もいるとか。実践的な力が身に付き、革新的な授業です。



上野幸子さん(3年次生 取材時は2年次生)

将来、商品開発に関わる仕事に就きたいと思ったのが、この演習の選択理由です。半年でグループワークの力も付き、情報にアンテナを張れるようになりました。実現したいものを持っている人はチャレンジしてみたら面白いと思います。



黒瀬義隆さん(3年次生 取材時は2年次生)

商品開発をやりたくて先輩からアドバイスを受け、荒木教授の演習を選びました。3年次になって専門のゼミに入れば、実際にいろいろな企業と関わっていくことになります。そのためにも、ここで基礎的な能力を身に付けたいと思います。



商学部
荒木孝治 教授

これまで基本的に、理系の人が技術開発をし、それを文系の人々が整理するというイメージが多かったと思いますが、その中間に位置して「ビジネスの橋渡し」ができる人材を養成するのが目標です。そのためあえて、技術的な課題を取り上げています。2年次のこの演習では関大が持つ優れた技術を商学部がうまくプッシュできれば面白い活動になると思いますね。



関大生 学生生活の変遷

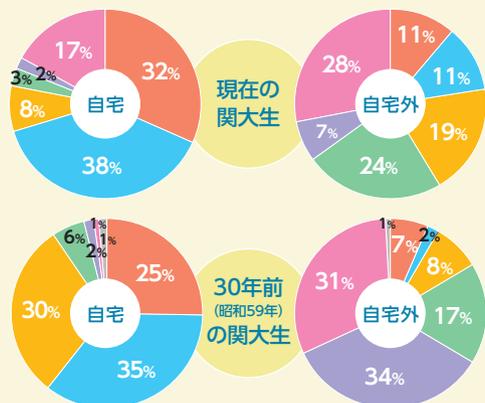
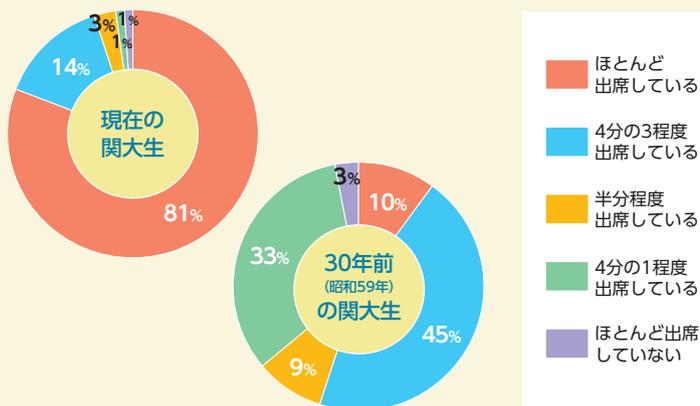
今と昔の関大生の学生生活には、どのような違いがあるのでしょうか。

学生センターが毎年発行している『学生生活実態調査報告書』のデータをもとに、現在の関大生と、皆さんのご両親が学生時代のころ(30年前)の関大生を比較し、その環境と意識の差を探ってみました。

昔の関大生は、あまり授業に出ていなかった!?

授業への出席頻度

現在の関大生の81%が、「ほとんど出席している」と回答しているにもかかわらず、30年前の関大生はわずか10%のみで、45%の学生は半分以下の授業しか出席していませんでした。ちなみに、現在の関大生の授業出席頻度を学部別に見てみると、1位がシステム理工学部、2位が環境都市工学部、3位が社会安全学部、4位が化学生命工学部と、理工系学部の学生の方が、わずかに授業出席頻度が高い結果になっています。



昔の関大生の方が、お小遣いや仕送りをもらってた!?

家庭からの援助

自宅に住んでいる学生を比べると、家庭からの援助を受けていない学生が増えていますが、8万円以上の援助を受けている学生も増えています。一方、自宅外の学生を比べると、30年前の関大生の方が、6万円以上の援助を受けている人数がかなり多かったようです。当時よりもお金の価値も上がっているため、30年前の関大生は多くの援助を受けていたのでしょうか？

学生生活における悩みは変わってきている!?

悩み・不安

現在の関大生の84%が、「就職や将来の進路について」悩んでいると回答しており、ダントツの1位になっています。逆に、30年前の関大生は、就職や進路に関する悩みが2位になってはいますが、「思うほど、勉強などいろいろなことができない」と今の自身の生活に対する悩みが1位となっています。就職氷河期などもあり、やはり現在の関大生の方が将来について強く気にしているのでしょうか？



昭和59年のデータは、全て第1部の学生データのみを使用しています。



政策創造学部2年次生

原雄貴さん

学問は言葉の壁、国境を超える。



国際教育プログラム

国際社会で通用する語学力を修得し、グローバルに活躍できる人材の育成を目的としているのが、政策創造学部の国際教育プログラムです。海外英語研修としては、原さんが体験したオーストラリアのアデレード大学の他、ニュージーランド国立ワイカト大学への留学プログラムが用意されています。

今回は、原さんからのご紹介でNPO法人 国際ボランティア学生協会IVUSAの代表、井上哲貴さん(シス理4)が登場。お楽しみに!

入学案内で知った政策創造学部の国際教育プログラムを利用して1年次の夏休みに5週間、オーストラリアのアデレード大学に留学した原雄貴さん。国際交流に積極的だった両親の下、幼いころから海外の方が身近にいるのが自然、という環境で過ごしていたといいます。

正直なところ、留学に行く前は「遊び」の気持ちが大きかったという原さんですが、5週間の留学中に気付いたことがありました。それは、留学前の春学期に関大で受けた講義内容とアデレード大学の授業内容に共通点が多かったということ。そこから、人の顔の表情などと同じで、学問自体も「言語」という枠さえ外してしまえば何ら変わらない世界共通のものだということを再確認しました。「言語の壁さえなければ、どこで学んでも、どこから学んでも大丈夫だ」と実感した原さんは、「この留学体験は、今後、他の国の人たちとコミュニケーションを取る時にきっと役に立つ」と自信を持って語ります。

将来は公務員になり、外国人を含めたいろいろな人たちを支援できるような仕事に就くのが夢という原さん。そのために英語を磨き、異文化理解を深め、さらなる見聞を広めようと、再度海外留学を考えています。希望は4年次の学期を利用し、以前から興味を持っているイギリスへ。英語の資格試験に加えて大学の一定以上の成績も必要となる長期留学は、きっと自らのモチベーションも上げてくれるはず、と期待します。留学を考えている人に伝えたいことは「あらかじめ目的を設定して留学してほしい。目的を意識することで、留学体験がより有意義なものになるはずです」。

英語以外に力を入れているボランティア活動では、人手がなく存続の危機にある地方のお祭りに参加し盛り上げたり、農作業の手伝いをするなど、地域活性化に協力しているそうです。「このような経験も、きっと将来への大きな力になると思います」と真っすぐなまなざしで力強く語ってくれました。



Yuuki Hara

学部・研究科トピックス

法学部 / 法学研究科

敷居は、どっちのものか

法学部で論じられる問題の多くは、平たく言えば「部屋と部屋の間の敷居はどっちのものか」という類のものだ。そういえばつまらなく聞こえるかもしれない。しかし、「境界」を正確に設定することによって秩序を構成するという思考は、非常に実り豊かで、興味深い。例えば、宗教的・道徳的な規律 (discipline) は、しばしば、人間の一手一投足について「最も正しい」模範を示そうとする。そのような秩序思考と比べ、権利や権限の境界を示そうとする法的思考のなんと特殊であることが、一度、考えてみてほしい。
(入試主任 西平等教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

日中韓伊院生フォーラムを開催

本年2月25日・26日、北京外国語大学で日本・中国・韓国・イタリア4カ国の院生フォーラムを開催しました。東アジア文化研究科からは15人の院生が参加し、日本語・中国語・韓国語による研究発表と討論を行いました。次回は8月末に韓国・嶺南大学校で開催する予定です。

(東アジア文化研究科副研究科長 藤田高夫教授)



経済学部 / 経済学研究科

手話コースで新入生を熱烈歓迎

4月2日、新入生歓迎行事で、本学に在籍する難聴学生と手話サークル「アップル」の学生が合同で、手話によるミニ・コンサートを披露しました。日本政府が批准した「障害者の権利に関する条約」(本年2月19日発効)を記念したものです。741人の新入生が熱心に手話コースを目で聴き入りました。

(副学部長 李英和教授)



商学部 / 商学研究科

継ぐか継がないか、それが問題だ

商学部では、「ビジネス研究(次世代の後継者のための経営学)」を本年度より開講。本講義の主な対象は、実家が事業を営んでいる学生で、家業に正面から向き合ってもらうことを目的としています。講師陣は、家業を継ぐという決定を自らも行った現役の経営者です。
(荒木孝治教授)



社会学部 / 社会学研究科

今年も心理学検定が行われます

キャリアアップや勉強の目安のために、資格や検定に興味がある学生の皆さんも多いと思います。社会学部の心理学専攻は、「心理学検定」という検定を応援しています。今年の申込時期は6月10日(火)まで、試験は8月10日(日)に行われ、千里山キャンパスが試験会場の一つとなっています。昨年度は心理学専攻からも多数の学生が挑戦し、1級・2級を取得しました。この検定は心理学専攻の学生だけでなく、どなたでも受検できます。ご興味がある方は、ぜひトライしてみてください。いかがでしょうか。
(教学主任 福島宏器准教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

新入生合宿を開催

学部主催の恒例行事、新入生歓迎のための合宿が、今年もゴールデンウイークに3回に分けて開催されました。参加者は年々増え続け、今年も新入生の約85%(約300人)が参加しました。合宿の主な内容は、模擬ゼミとプレゼンテーションです。海外観光や環境問題など、さまざまな課題の解決のための方法を、10人前後の小グループに分かれて討論し、翌日全員の前での提案を行いました。1泊2日の期間中、学生たちは深夜まで議論を重ね、今後の活躍が期待できそうでした。
(深井麗雄教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

他者に届く言葉

日々生活していると、人を励ましたり、思いやりしなければならぬ場面が多々遭遇します。そういうとき、月並みな定型句しか出てこなくて困ることがあります。そのような定型句は人の心に届かないような気がするからです。しかし、他者に届く言葉とはどのような言葉でしょうか?外国語学部とは、まさに他者に届く言葉を学ぶことができます。本当の意味で他者の言葉を学ぶことができた者だけが、自分の言葉を語ることができ、そしてそういう言葉だけが、本当の意味で他者の心に届くのです。
(李春喜教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

体験型初年次教育の取り組み

人間健康学部では、体験学習を学びの軸に据えた初年次教育を展開しています。大学は知識を獲得するためだけの場ではなく、異質な「他者」と出会うための場でもあります。人は、「他者」と出会うことにより、自己と向き合い、成長します。人間健康学部では、学生たちが体験的に、文字通り「身をもって」、「他者」と出会い、学ぶ機会を提供しています。自己と向き合い、大学生としての学びの「構え」がつけられることによって、専門科目は単なる情報ではなく、自らの人生に密接に関わる知識になるのです。
(小室弘毅准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

安全第一! 安全衛生週間

理工系3学部には、126の研究室があります。研究室には、様々な実験装置や化学薬品、多数のPCや書籍が置かれており、日々、研究活動が行われています。研究活動で最も重要なことは、『安全第一』です。6月には、第4学舎全域で安全衛生に関する取り組みの一環として、「安全衛生週間」が実施されます。教職員と学生が協力し、理工系学部の全研究室における一斉自主点検、事故防止啓発のための講習会が行われます。この機会を通して、学生および教職員の安全管理

に対する認識がさらに高まることでしょう。

理工系学部のカリキュラムの特徴の一つに、実験や演習の科目があります。物理や化学の基礎的な現象の理解をする実験や、設計などの演習科目を1~3年次で履修します。講義で学んだことを実際に自身の手で実験し、経験を積むことで、より深く理解が進みます。写真は、「材料の引張試験」の様子です。金属片を数トンという荷重で引張り、破断させて金属の強度を調べています。破断の瞬間の

「ドン!」という音と振動を感じることも、実験では大切なことです。また、学生の皆さんは、これらの実験科目において、安全に正しく実験を行う手法を学びます。



(システム理工学部入試主任 松本亮介准教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

入試要項配布・進学説明会開催

次年度(2015年度入学)に向けて、会計専門職大学院では5月より入試要項の配布を開始しています。次年度の入試では、年5回募集を行います。これに合わせて進学説明会を随時開催していきます。直近では、6月7日(土)13時~15時に実施します。また、今年度の進学説明会では、皆さんに、より積極的に本大学院への進学を検討してもらえるよう、授業見学会や在学生による大学院紹介などを新たに企画し、有益な情報提供に努めています。多数のご参加をお待ちしています。入試要項請求・進学説明会の詳細については、会計専門職大学院のウェブサイトをご覧ください。(http://www.kansai-u.ac.jp/as/) (入試主任 中村繁隆准教授)



併設校トピックス

関西大学北陽高等学校・中学校

グラウンドリニューアル!

今年の1月に着工したグラウンドの全面改修工事が、3月28日に竣工いたしました。サッカー、ラグビーが兼用で行えるインフィールドには最新型のロングパイル人工芝が敷設され、その周りには目にも鮮やかなブルータータンの陸上トラック、さらには、ハンドボールコート、テニスコートが敷設されております。生徒が使用する際には、衝撃吸収を高め、かつ表面温度の過剰な上昇を抑える表面処理が施され、転倒時の安全性にも優れた仕様となっております。正課授業、クラブ活動に限らず、北陽の新たなシンボルとして、さまざまな場面での活用が期待されています。
(関西大学北陽高等学校 教頭 田中敦夫)



Attention 大学からの重要なお知らせ

SPI試験対策講座

本学の3年次生・M1生の皆さんを対象とした「SPI試験対策講座」の受講申込受付が7月9日(水)に始まります! 6月に学内で実施される無料の就職模擬(SPI)試験を受験※し、その試験結果が4段階以下の方には、夏休み期間に実施される「基礎コース」の受講をお勧めします。皆さんもご承知の通り、近年多くの企業で活用されているSPI試験で、そのスコアが芳しくなく苦戦している学生が数多く見られます。早期の対策が勝負の分かれ目となることは言うまでもありません。

【基礎コース】(開講キャンパス 千里山) 【募集人員】400人 【受講料・教材費】5,000円★1 【日程・内容】別表の通り

★1 受講申込時に、10月実施予定の就職模擬試験代500円を別途お支払いください。 ※詳細は講座案内2014を参照してください。

【日程・内容】

回	日程	内容	
		13:00~14:10	14:20~15:30
1*	9/8(月)	言語分野① 漢字と熟語の基礎、二語の関係、語句の意味・用法	非言語分野① 割合の計算
2	9/9(火)	非言語分野② 食塩水の濃度、二重の割合	言語分野② 適語挿入・熟語の構成、文の並べ替え、長文読解
3	9/10(水)	非言語分野③ 損益計算・分割払い	非言語分野③ 料金引き・清算問題
4	9/11(木)	非言語分野④ 仕事算・水桶問題	非言語分野④ 表の読み取り問題
5	9/12(金)	非言語分野⑤ 速さの計算	非言語分野⑤ 流水算と旅人算
6	9/16(火)	非言語分野⑥ 集合	非言語分野⑥ 場合の数、順列と組み合わせ
7	9/17(水)	非言語分野⑦ 確率の基礎、確率の計算	非言語分野⑦ 推論
8	9/18(木)	非言語分野⑧ 資料解釈	非言語分野⑧ 整数問題
9*	10月中旬	就職模擬試験	

※日程・内容等は変更になる場合があります。

★2 初回は授業開始30分前よりオリエンテーションと教材配布を行います。 ★3 就職模擬試験の日程については講座内でご案内します。

【受講申込受付】

キャンパス	受付場所	取扱時間
千里山	エクステンション・リードセンター事務局	10時30分~21時 (日・祝日および本学休業日を除く)
高槻ミュージズ	エクステンション・リードセンター高槻ミュージズキャンパス分室	10時~17時 (土・日・祝日および本学休業日を除く)
高槻 (総合情報学部生・大学院 総合情報学研究科生に限る)	キャリアセンター 高槻キャンパス分室	10時~16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く) ※12時30分~13時30分は除く
堺 (人間健康学部生・大学院 人間健康研究科生に限る)	キャリアセンター 堺キャンパス分室	10時~16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く) ※12時30分~13時30分は除く

エクステンション・リードセンター (ERC)

関大トピックス

学長表彰式 兼 関西大学カイザーズ トップスケーター応援感謝会を開催

4月21日、千里山キャンパス第1学舎1号館千里ホールにおいて、「学長表彰式 兼 関西大学カイザーズトップスケーター応援感謝会」を開催しました。

ソチオリンピックフィギュアスケート男子シングル5位入賞・世界フィギュアスケート選手権大会銀メダルの体育会アイススケート部の町田樹さん(文学部4年次生)、同じくソチオリンピック6位入賞の高橋大輔さん(文学研究科M2)、長らく第一線で活躍し、先日現役を引退した織田信成さん(文学研究科M2)の活躍をたたえて学長表彰を授与するとともに、3選手からこれまで応援してくださった皆さまに感謝の気持ちで伝えられました。

学長表彰式後にはトークイベントが行われ、普段あまり見ることができない3人の素顔が垣間見える楽しいイベントに、学生ら約1,200人で満員になった会場は大いに盛り上がりました。



共通教養科目に「国際化教育プログラム」を開設

関西大学では、次世代グローバルリーダーの育成に向け、2014年度から共通教養科目の中に、全学的な国際化教育プログラムを開設しました。(科目の取り扱いについては、学部・学年ごとに異なりますので、ご注意ください)

【KUGF(Kansai University Global Frontier)プログラム】では、本学への留学生や本学から海外に留学する学生を対象に、英語で行われる講義を42科目開設します。内容は「防災・減災と復興」「食品科学&工学」「国際ビジネス&アントレプレナーシップ」「日本学」「言語教育&コミュニケーション」という5つのモジュールと、TOEFL対策などの英語の基礎学力向上トレーニングや異文化対応能力を練達する「国際教養科目群」で構成されています。さらに、今まで外国人留学生向けに開講されていた科目も、一定の基準を満たす一般学生は受講できるようになりました。

また、「国際協力サービスラーニングプログラム」では、他者への献身を第一義とする国際ボランティアを通じて、コンピテンシーを養成できるよう設計されています。

全学的な国際化教育プログラムの開設は、学生が入学後の早い段階で交換留学や認定留学などを含めた学修計画の目標を立て、必要な語学力の増進とグローバル人材としての知識や経験を積んだ上で、外国語による専門科目受講や各種国際プログラムへ参加できるよう導くことが目的です。海外でも活躍できる人材の育成に向け、扉が大きく開かれたことになります。



国際ボランティアとして、スリランカの子どもたちにサッカーを教える関大生

安全フェスティバルを開催します

6月15日(日)、高槻ミュージックキャンパスにて、第3回安全フェスティバルを開催します。「繋がりが安全を作る」をテーマに、社会安全学部祭典実行委員会が企画・運営を行う学生主体の催しで、自衛隊や献血車を招いてイベントを実施します。さらに、防災脱出ゲームや防災グッズ作成体験など、



昨年の様子

堺キャンパス祭を開催します

6月8日(日)、堺キャンパスにて、堺キャンパス祭を開催します。今年のテーマは「Departure～堺の堺による堺のためのキャンパス祭～」。

堺キャンパスの準登録団体による子ども向けスポーツイベントや幼児と保護者対象が一緒に遊ぶ子育てイベント、フリーマーケットや模擬店などを実施します。他キャンパスの皆さんもぜひお越しください。



昨年の様子

関大人

よちよちまぼなし

四方山話 ◆「ある日の夕方に・・・」 システム理工学部 学部長 多川則男教授



ある日の夕方、梅田にある書店にぶらりと立ち寄った。特に探している本があったわけではない。なんとなく専門書のコーナーを探していると、ふと店内の片隅に小さなエレベーター。何げなく乗り込み、専門書のコーナーは何階かと表示板に目をやると、最上階だけ意外なことに酒場のような店名がポツンと記されていた。ちょっとした興味で思わずその階のボタンを押した。エレベーターの扉が開くと、書店の雑多な雰囲気とは全く異なる別世界が現れ、一瞬

ちゆうちよしたものの、その静けさに惹かれ思わず店に入ってみた。中には中年の男性客が一人いるだけ。他にお客はいない。妙に落ち着く空間であった。偶然来たにしては懐かしい感じがさえることを不思議に思い飲んでいると、ふと気付いた。ここは学生時代によく行った仙台の酒場にそっくりだったのだ。いつしか学生時代にタイムスリップし、日常の忙しさから解放された時間を大いに楽しんだ。ひよんなことからリフレッシュできたある日の夕方の出来事だった。

編集後記

この『KANDAI STYLE』のサイズをご存じでしょうか。定規を当てていただくと分かりますが、縦が257mmで横が210mmです。411号からA4サイズに代わり、このサイズになりました。横はA4と同じですが、縦はB5の長辺の長さと同じで、AB版と呼ばれるサイズです。用紙寸法のA列は国際規格、B列は日本の規格ですので、AB版は混合サイズです。皆さんがこの『KANDAI STYLE』を体現するような方法(=Style)で学生生活を送り、国内外で活躍されることを期待しています。(広報委員・社会安全学部助教 城下英行)

今月の表紙：体育会各クラブの主将の皆さん：岡本宏基さん(人4)、今井希実さん(商4)、大山拓也さん(人4)、江原祥太さん(人4)、濱田未玖さん(人4)、館田隼さん(人3)、森光里さん(経4)、豊田伸悟さん(経4)、田中美穂さん(法4)、山田侑希さん(社4)、森田美咲さん(文4)



関西大学通信「KANDAI STYLE」

発行日：2014年6月2日(年9回発行)
発行：関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話：06-6368-1121(大代表)

表紙モデル 大募集!!

広報課では、『関大通信』の表紙を飾ってくれる関大生を募集しています。今回は、10月号・11月号・12月号の表紙写真撮影会を7月上旬に予定しています。個人でも、グループ(ゼミ・サークル・クラブなど)でもOK!興味のある人は、学籍番号・氏名・携帯番号を【tsushin@ml.kandai.jp】まで送信してください。

